教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	実施クラス	1年1·2·3組
単元名	3	食事と健康―食品に含まれる成分					

## 1. 授業(単元)で扱う目標・内容について

①本授業の目標(能力向上をねらいとする) Step を 、特にねらいとするものを で示しています。

						1
Step	発想	課題·仮説設定	調査·実験計画	データ取得・処理	研究遂行,考察	表現·発表
	複数の考えを組合せ	実験・調査結果から	課題や期間に合わせ	与えられたデータを統	必要に応じて外部と	グローバルに発信・
	ながら、自分の発想	新しい課題を見つ	た、適切な実験・調	計的に分析し、分析結	協力しながら研究が	発表ができる。
6	を再考し、新しい価	け、仮説を設定する	査計画を立案するこ	果を言語化できる。	できる。	
	値を生み出すことが	ことができる。	とができる。			
	できる。					
	他者とアイディアを	仮説が適当なもので	先行研究を参考に、	課題を検証するため	課題を解決するため	論理的に矛盾のない
_	討論し、より良いも	あるかを判断するこ	新たな見解や視点を	の、データの取得・分	に、仮説⇒検証を繰	文章が書ける。論文
5	のにしていくことが	とができる。	見いだすことができ	析方法を検討すること	り返すことができ	の執筆ができる。
	できる。		る。	ができる。	る。	
	知見・知識を統合し	疑問に対して仮説を	課題に対する先行研	与えられたデータの代	得られた結果と仮説	スライド・ポスター
	て、アイディアを見	設定することができ	究の調査を行うこと	表値、分散、相関係数	が対応するかしない	等を使って発表する
4	いだすことができ	る。	ができる。	等を調べられる。	かを正しく判断でき	ことができる。
	る。				る。	
	身の回りの現象につ	調べた結果に、新た	仮説を検証するため	実験・調査を再現でき	実験・調査の条件を	スライド、ポスター
	いて自分の興味のあ	な疑問を持つ。	の手段・機材を検討	るように研究記録を正	再検討し、調整する	等の発表資料を作成
3	ることを調べること		することができる。	確に取ることができ	事ができる。	することができる。
	ができる。			る。		
	身の回りの様々な現	書籍やインターネッ	基本的な実験・調査	主張したい事柄に応じ	実験・調査の結果か	自分の意見や考え
	象を比較して、違い	トを用いて疑問につ	技術を習得してい	て適切なグラフを選択	ら何がわかったのか	を、レポート等にま
2	を見つけることがで	いて調べることがで	る。器具、操作の原	できる。	を理解することがで	とめることができ
	きる。	きる。	理を理解している。		きる。	る。
	日常の様々な出来事	様々な現象に疑問を	実験・調査の手順を	グラフの読み取りがで	計画に基づき、手順	自分の意見を持ち、
	に興味を持ち、対象	持つことができる。	理解している。実験	きる。数値とグラフの	通りに実験・調査を	失敗を恐れずに表現
1	をよく観察すること		の結果を正しく読み	種類が与えられれば、	行うことができる。	できる。
	ができる。		取ることができる。	書くことができる。		
				_		

## ②本授業(単元)で習得すべき内容

調理実験・実習を通して、食品に含まれる成分や原理等について、科学的な視点から考察できる態度を身に付けさせる。

## 2. 1の目標・内容を達成できたかを判断する「規準」と「方法」

規準:調理実験・実習の7項目について理解できたか判断する

方法:生徒観察、ワークシート、アンケート

# 3. 具体的な授業におけるチャレンジ(教材・発問・学習活動・めあて・ふりかえりなど)

生徒が実験・実習内容の食品を試食や観察を行い、その内容について科学的な視点から教師等が解説をする。 試食や観察を通して、気付いたことや質問があれば発言する。

No.17

### 1 脂質・種実をつぶして脂質をみてみよう



(方法)
① 紙の上にごまをのせる。
② 二つ折りにして紙の上からスプーンでつぶす。
③ 水分のあるものは乾かし、通き通るようなしみがあれば脳質である。
※額や実をつぶすと中の脳質が出て、油のしみができる。

Q:脂質は確認できましたか。

YES

食生活の自立一食事と健康 「調理実験」・食品に含まれる成分を目で見て確かめるとともに、科学的視点から考えよう!

### 2 炭水化物・食物繊維を確かめよう

[材料]	- (
土生姜 適量	
	i.

[つくりかた]
① 土生姜の皮をおろし金でおろす。
② おろした土生姜などを確認する。

Q:食物繊維は確認できましたか。 YES

#### 3 卵の乳化性・・マヨネーズをつくってみよう

[材料] 卵黄 酢 サラダ油 塩 しょう マスタード	1/2個 (大1/2) 7 mL 5 0 mL 適量 適量
	一ドは使いません。

[つくりかた]
① ボールに卵黄1/2個、酢5 mL、塩、こしょうを入れ、よく混ぜる。
② ①を袖立て縁でよくかき混ぜながら、サラダ油を1 満すつ加える。
③ 見化が安定したら始を少量ずつ加えながらよく混ぜる。かたくなったら、残りの酢を加えるとやわらかくなる。
④ 塩 こしょう、好みによってマスタード等で味を整える。

Q: 卵の乳化性、この働きは卵黄の何によるものですか。→( エマルジョンの説明は理解できましたか。 YES NO

### 4 ペクチンの特質・・りんごジャムをつくってみよう

[材料]	
. りんご(1/4個)	60 g
砂糖	2 5 g 程度
レモン汁	. 5 mL

(つくりかた) り りんごの皮をむき、おろし金ですりおろす。 ② りんごに、砂糖の半量とレモン汁を加えて火にかけ、 ごげないように注意しながら異ぜる。 ② 最初で速火で蒸立て、泡が出たら残りの砂糖を入れ、 泡を敷りながら弱火で展ぜながら表る。 ③ 適当なかたさに素能まったら火を止める。 ※木へらで底をかいて、片板が残らなければ煮詰まった状態。

[つくりかた]

Q: りんごには、ベクチンという天然のゲル化剤が含まれていることが理解できましたか。YES NO

5 乳製品の加工・・バターをつくってみよう

[材料] 生クリーム(動物性) 大1 牛乳 大1/2 ふたつきの容器 1個 (クラッカー) [つくりかた]
① 容器に生クリームと牛乳を入れ、よく振る。
② 水分が出て、黄色のかたまりができたら、水分(自 いバタ・ミルグ)を指でる。
(③ クラッカーに付けて試食する。)

Q:バターはできましたか。 複物性の生クリームでもできると思いますか。 YES

YES NO 理由→(

### 6 乳製品の加工・・カッテージチーズをつくってみよう



[つくりかた]
① 牛乳とレモン汁を鍋に入れ、木べらで軽くまぜ、中 火にかける。
② 全体がもろもろしてきたら、火を止める。
③ ザルにペーパータオルを敷き②を漉し入れてこす。
(② クラッカーに付けて飲食する。)

Q:たんぱく質は何によって固まる性質があるのか、実験結果から考えてみましょう。→ (

### 7 牛乳の成分・飲み比べをしてみよう

C	[サンプル	-]				 	
	種類別	牛乳					
	種類別	成分調整牛乳					
l.	種類別	低脂肪牛乳	(乳脂肪分 0.5	%以上、	1,5 %以下)	 	

Q:どの種類の牛乳が一番おいしかったですか。 牛乳 成分調整牛乳 低脂肪牛乳

· ·
考察・まとめ     ・1 日に必要なあなたのカルシウム量は 男子
・必要なカルシウム量をどのように摂取していますか。また、これからどのように摂取しますか。 現在 : 今日から:

### 4 授業の展開

## 調理実験・実習

授業展開:示範(スクリーン映写)及びスライドによる説明と生徒個人による実習を行う

授業者 : 井上藍 (理科)、並川幸子 (家庭科)、(一般社団法人) 日本乳業協会関西相談室

評価:食品に含まれる成分や原理について、関心を持って科学的な視点から考察することができる。

【関心 意欲 態度】

時間		方法	形態	担当	留意事項	立 意欲 態度】 準備物
5分	講師紹介	77 14		並川	簡潔に実施	I MIN IVA
- ) •	学習のねらい		'	, ,		
5分	1 脂質	ごま・ピーナッツをつぶす	一斉	並川(実技)		ごま・ピーナッツ
	・・脂質をみる			井上(説明)	しみ(油)を確認させる	懐紙・スプーン
						(2つづつ)
5分	2 炭水化物	土生姜をする	一斉	並川(実技)		土生姜
	・・食物繊維			井上(説明)	繊維を確認させる	おろし金
					繊維や土生姜の働き	
15分	3 卵の乳化性	マヨネーズをつくる	一斉	並川(実技)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	卵・酢・胡椒・
	・・マヨネーズ			井上(説明)	エマルジョンを中心に	塩・サラダ油・
						泡立て器・
						ボール・大 S
		○ スライト*				
15分	4 ペクチンの特質	りんごジャムをつくる	一斉			鍋・カセットコンロ・
	・・ジャム			井上(説明)		木べら・皿・
					ペクチンを中心に	砂糖・りんご・
						レモン汁・
						ポッカレモン
		  ○スライド				小S
休憩	<u></u> 牛乳の配付をする	U x / 1 l			<u>●</u> ・配付手伝う 手袋着用	
15分					(トレーにのせて配付)	
15分	7 牛乳の成分	飲み比べをする	個人	乳業協会	牛乳の成分を中心に	※3種牛乳
2003	<ul><li>・・飲み比べ</li></ul>			(実習説明)		※紙コップ
	****			(3 1   10 2 7 17		トレー
		<b>※</b> スライト゛				
15分	6 乳製品の加工	カッテージチーズを作る	一斉	乳業協会	生徒試食用は予め準備	鍋・カセットコンロ・
	・・カッテーシ゛チース゛			(実技説明)	クラッカー 1 枚にのせた量のみ	木べら・ボール・
					・配付手伝う	へ。一ハ。一タオル・皿
						サ゛ル・クラッカー・
						ホ <sup>°</sup> ッカレモン
						※牛乳
		<b>※</b> スライド				
15分	5 乳製品の加工	バターをつくる	個人	井上(説明)		容器・生クリーム・
	・・バター			並川(巡視)		牛乳・クラッカー・
					バターの構造・植物油	大 S・スプーン
					脂との違いを中心に	
		○ スライト*				
5分	まとめ	科学の視点からまとめ		井上	ワークシート記入・回収	
	終わりの挨拶			並川		
					\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.	 業協会準備